


【家庭教育支援チーム】

チーム名 (呼称)	八尾市家庭教育支援チーム (呼称: いきいき子育て) URL: https://karin-nakakawachi.jimdofree.com/
活動開始年度	平成17年9月～
活動拠点	○八尾市志紀住宅第四集会所、志紀コミセン
活動範囲	八尾市内全域
活動財源	<input type="checkbox"/> 文部科学省補助事業() <input type="checkbox"/> 文部科学省委託事業() <input type="checkbox"/> 厚生労働省事業(事業名) <input type="checkbox"/> 地方単独事業として実施 <input type="checkbox"/> 特段の予算措置はないが、自主的に活動を実施 <input checked="" type="checkbox"/> その他の支援により活動を実施 (家庭倫理の会中河内から補助)
組織体制	22 人 子育てサポーター 18 人、元幼児教員 2 人、 日本家庭教育学会認定家庭教育師 1 名、 介護福祉士(親の介護の相談) 1 名
具体的な活動内容 	<input checked="" type="checkbox"/> 講座型 <input checked="" type="checkbox"/> 拠点型 <input type="checkbox"/> 訪問型 <input type="checkbox"/> 総合型 <input type="checkbox"/> その他 【活動内容】 <ul style="list-style-type: none"> ・いきいき子育てセミナー開催をし、子育て中のママの支援。 ・体験型子ども塾 しつけ、教育、あそびの三本柱で、体験型子ども塾を開催し、子ども達が楽しめる企画を行っている。具体的には、工作やクリスマス会、書初めなど、季節の行事を通して、挨拶、後始末や物の大切さ、いのちの大切さなどを自然に身に付けるように学習をします。 ・学習会の開催 保護者を対象に、子供との関わり方等について、託児付学習会を年に数回開催。

・地域の中学校での短歌授業



(5.6 時間目に年10回程度授業を
実施して14年目となる)

←【埋蔵文化センターで勾玉作りや土器磨き】

【未来に夢を持つ為、短歌の時間に、けん玉チャンピオンの指導を頂き



検定試験も実施、生徒は検定証を頂きました】



・町の清掃



【町の清掃の様子】↑

・ママ・パパ子育て教室の開催

親子と一緒に作業をしたり、料理教室や物づくり教室を年に数回開催。

節目の行事を通じて日本文化を学習する。



【子育てセミナー】 ↑



【クリスマス会】↑



【子育てセミナー風景 令和元年】↑



【料理教室 familyで参加】↑

【初めての書道体験】↓



活動の成果


- ・講座参加前に比べると、子育てに対する理解が深まった」と、参加者に喜ばれ、「また、参加します」と笑顔で帰られた。
- ・子育てや夫婦の様々な問題、ママ友との関係の悩みや不安が解消し、参加したママの笑顔が蘇った。
- ・様々な年齢の方とのふれあいを通し、育児に関する情報などを得て、「子育てに前向きな気持ちになれた」という声もあり、気軽に相談できる環境を整備する事により、仲間の輪が広がりました。
- ・ママ同士の会話も広がり、子供は大人を尊敬し、大人は子供の成長に感動し、子どもの日常に見れない一面を発見出来たというママもいました。
- ・スタッフは、地域交流会にも参加し、子育て支援の手をつなぎ、情報交換が出来た。



【大阪府子育て支援との交流】↑



【市民活動交流会】↑

<p>活動において苦労した点や課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・一定の活動場所が確保できず、その都度会場を予約し、活動を続けてきたが地域に認められ、令和元年10月より特定の会場の予約確保が出来るようになった。 ・地域とのつながりを深め、多くの方々の参加を頂いているが、新たな集客に努める為に、広報掲載や市政だよりに工夫を続けてきた。 ・不登校、引きこもりの問題解決にも多くの体験や資料なども提供しているが、まだまだ発信方法に課題を残している。 ・一時保育に関しては、安全を第一に愛情いっぱいに行っているが、スタッフ人材不足には今後の課題である。 ・年々スタッフも高齢化となっているため、若手の育成にも力を注いでいる。 <div style="text-align: right;">  <p>【保育現場】↑</p> </div>
<p>今後の活動目標</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・現在は、妊婦・学童期の子供を持つ母親を対象にセミナーを開催しているが、保護者のニーズを考慮しながら活動をしていきます。 ・今後は学校等とも連携しながら、保護者の抱える悩みや不安にも対応していけるよう相談の機会を増やし、傾聴ボランティアなども積極的に実施していくよう活動を強化していく。
<p>問合せ先</p>	<p>(TEL) 090-3353-1814 石原和子 (FAX) 072-993-5050 (E-mail) ftl_rinri_ishihara@yahoo.co.jp</p>